

鳥取県バイシクルタウン構想

【 概要版 】

～ 安全・安心で快適に走行できる
自転車利用先進県を目指して ～

平成25年5月
鳥取県生活環境部

目 次

- ・ バイシクルタウンの概要と施策体系 …… 1
- ・ 自転車走行空間の確保 …… 2
- ・ 駐輪場の整備拡充 …… 2
- ・ 観光やスポーツへの自転車の積極的活用 …… 3
- ・ 公共交通機関と連携した利便性向上 …… 3
- ・ 自転車利用のきっかけづくり …… 4
- ・ ルール、マナーの徹底 …… 4

構想の期間：平成25年度～32年度（8年間）

構想が目指す将来像

○自転車とクルマが対等な交通手段として子どもから高齢者まで安全、安心で快適に走行できる自転車先進県

取組の方向性

【ハード面の整備】

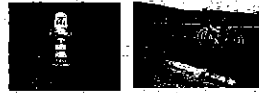
○安全安心な道づくり推進

（施策の例：カラー舗装など自転車走行空間の確保）



○観光やスポーツへの活用のための環境づくり

（施策の例：サイクリングコース路面標示）



○駐輪場の整備拡充

（施策の例：中心駅周辺等への駐輪場整備）



○公共交通機関と連携した利便性向上

（施策の例：自転車積載バスの導入）



【ソフト面の整備】

○自転車利用のきっかけづくり

（施策の例：自転車通勤チャレンジの実施）



○ルール・マナーの徹底

（施策の例：自転車シミュレータを活用した交通安全教室）

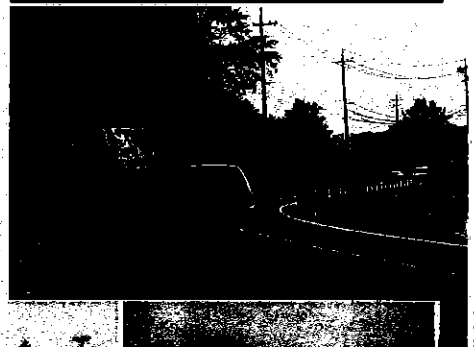


バイシクルタウン構想の施策体系

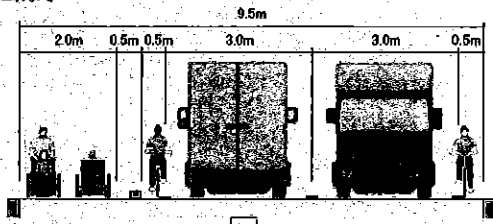
目標	将来像	取組の方向性	施策例
<p>●日常的な通勤や買物での利用をマイカー利用から自転車等へ転換</p> <p>【数値目標】 2020年までにマイカー通勤等からの転換者1万人増</p> <p>●観光への自転車利用やレジャーシーズンとしてのサイクリングの推進</p>	<p>「自転車とクルマが対等な交通手段として、子どもから高齢者まで安全、安心で快適に走行できる自転車利用先進県」</p>	<p>【ハード面の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全、安心な道づくり推進 自転車を利用しやすくする駐輪場の整備 公共交通機関との連携など自転車利用しやすい環境整備 誰もが楽しく便利に自転車が使ええる環境整備 	<p>自転車走行空間の確保</p> <p>新規県道は一定の路肩幅を確保</p> <p>路肩の拡幅</p> <p>路面標示、カラー舗装</p> <p>既設自転車専用道の有効活用を検討</p>
		<p>駐輪場の整備拡充</p> <p>観光やスポーツへの活用のための環境づくり</p> <p>公共交通機関と連携した利便性の向上</p>	<p>中心駅周辺等への駐輪場整備</p> <p>交通結節点への駐輪場整備を検討</p> <p>サイクリングコース路面標示</p> <p>レンタサイクルの拡充を検討</p> <p>自転車積載バスの導入</p> <p>自転車積載可能な鉄道路線拡大を検討</p>
		<p>【ソフト面の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康増進や環境にやさしいライフスタイルの推進 ルール、マナーを守ることができる人づくり、環境づくり 自転車に乗りたくなるような環境づくり（魅力の発信） 	<p>自転車利用のきっかけづくり</p> <p>自転車通勤チャレンジ</p> <p>自転車通勤に関する職場環境の改善支援を検討</p> <p>健康づくりにつながることのPR</p> <p>自転車マップの有効活用を検討</p>
		<p>ルール、マナーの徹底</p>	<p>交通安全教室等の実施</p> <p>広報啓発活動の推進</p> <p>学校におけるマナーアップの推進</p>

- 路肩幅員の拡大(条例制定)
- 通勤者の多い路線の路肩拡幅
- 自転車サイン・カラー舗装
- 既設自転車専用道の有効活用

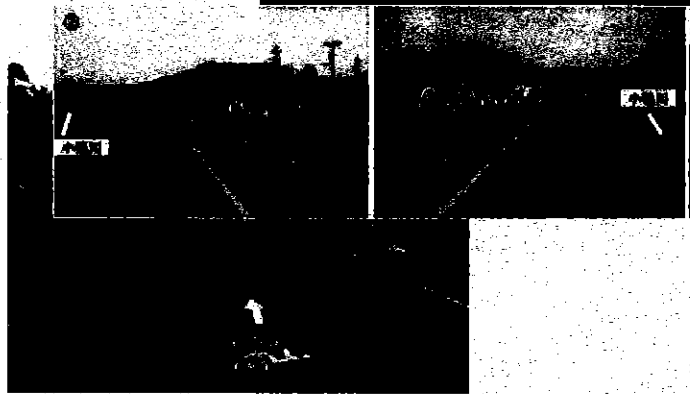
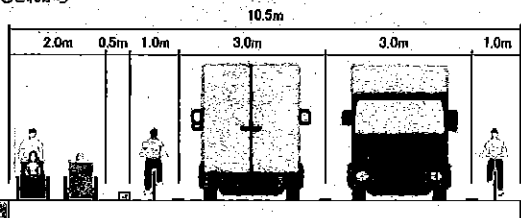
自転車の走行空間を確保するため、道路管理者、警察本部、自治体等と共同で自転車ネットワーク路線を検討。
⇒モデル的に自転車走行環境を整備する路線を選定



【第4種第3級(片側歩道の場合)の例】
○これまで



○これから

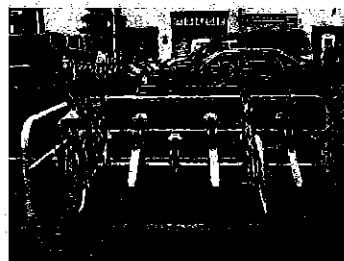


- 中心駅周辺への駐輪場整備
- 駅、バス停などの交通結節点、利便性の高い場所に駐輪場を整備

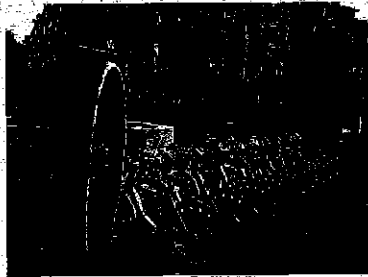
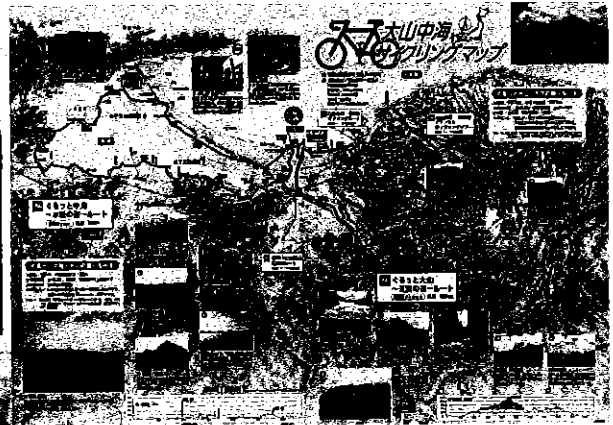
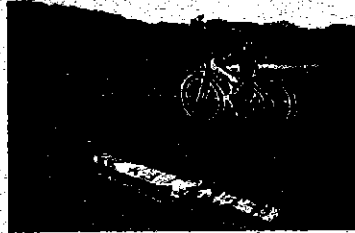
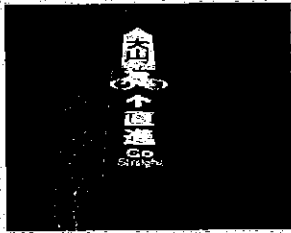
[効果]

- (1)公共交通機関との連携による利便性向上
- (2)駅周辺の買物客の利便性向上

⇒条例による自転車放置禁止により自転車を敬遠



- サイクリングマップ作成
- サイクリングコースの路面標示
- 新規サイクリングロードの整備
- レンタサイクルの拡充



公共交通機関との連携

- 駅やバス停などに駐輪場を整備し、公共交通機関利用者の利便性向上を図る(再掲)
- 自転車積載バスの導入
- 自転車積載可能な鉄道路線拡大



[活用例]

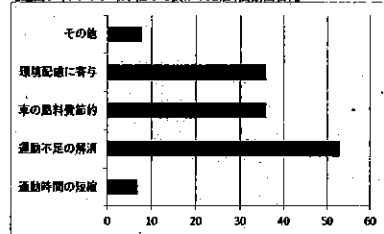
- (1) 中山間地から市街地への通勤・通学等への対応
⇒地形的に帰りが登り坂となり自転車が困難
- (2) レクリエーションとしてのサイクリング需要対応



○自転車通勤チャレンジの実施



【通勤チャレンジに取り組んで良かった点(複数回答)】

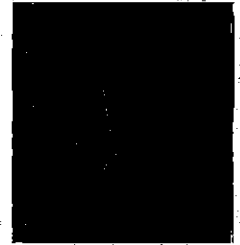


※その他の主なもの(リフレッシュできる、通勤時間が計算できる)

○自転車通勤に関する職場環境の改善

○健康づくりにつながることのPR

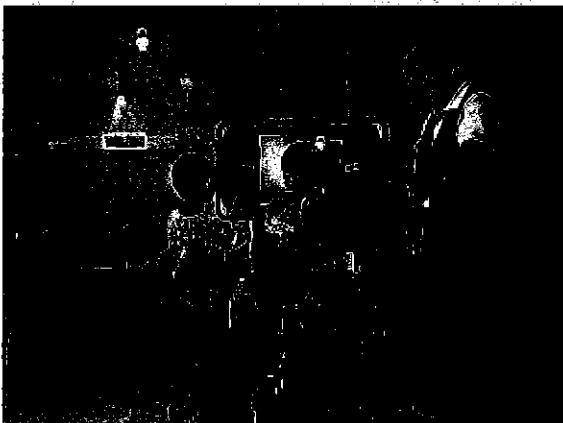
○通勤手当によるインセンティブ検討



○自転車シミュレーターを活用した交通安全教室等の実施

○広報啓発活動の推進

○学校でのマナーアップの推進



【通勤チャレンジ参加者へのアンケート結果より】

○通勤経路で走行しにくい箇所の具体例

